



▲ポスターイメージ

街頭インタビューや
イベントでのアンケート、
フェイスブックなどで、
たくさんの方から

足利愛をいただき



10種類のポスターが
生まれました

足利の**素通り**できない
魅力を **ギュッ**と凝縮!

もっと足利が好きになる

足利魅力発掘ポスター展

2月21日(水) ▶ 3月6日(火)

市役所本庁舎 1階市民ホール

3月7日(水) ▶ 3月14日(水)

アピタ・コムファースト1階コム広場

素通り禁止♡足利ポスター展

あなたの好きな足利はどれですか?

広報課
☎202261

♡ **ポスター、貼ってください**

ポスターを使ってPRにご協力いただける方は同課にご連絡ください。
※詳しくは専用サイトをご覧ください。



素通り禁止足利

♡ **こんなことねらってます**
市民の皆さんが足利の魅力を再認識して、「足利ってそうだよね〜」と盛り上がり、さらに市外の方に足利を自慢してくれるらと思っています。

♡ **こんなテーマです**
足利での何気ない日常の中には、実は『素通り』するにはもったいない魅力があふれています。そんな魅力を、たくさんの方のご意見を聞きながら、ギュッとポスターに凝縮しました。
足利を知らない人はきつと足利が好きになる、知っている人はもっと足利が好きになるポスター展です。

♡ **今までは…市街化調整区域は原則、宅地分譲は認められませんでした。**
♡ **条例改正で…小学校周辺などの一定の条件を満たす区域で、宅地分譲ができるよう許可基準**



♡ **ねらいは…民間開発による安価な住宅供給を誘導し、定住人口の増加を目指します。**
♡ **今後は…不動産業者などに広くお知らせしていきます。**
※詳しくは同課か市ホームページでご確認ください。

市街化調整区域における開発行為許可基準を緩和

都市計画課・☎202168

開発行為の許可基準に関する条例を次のとおり一部改正しました。

お知らせ

—市民の皆さんの活躍をご紹介します—

ちよと いい話。😊

足利の小学生が上位独占!
水道週間全国ポスターコンクール



▲加藤さんの作品



▲藤原さんの作品

水道週間にちなんだポスターの全国コンクールで、小学校低学年の部256点の頂点に北郷小2年加藤双星さんが、高学年の部1,831点の頂点に御厨小6年藤原菜央さんが輝きました。上位各6点の入選にも御厨小1年山本椋乃さんと葉鹿小5年関根智花さんが選ばれ、全国の上位を足利で占める快挙となりました。



▼右から藤原さん、加藤さん、山本さん、関根さん

足利工業大学から足利大学に 4月から本城キャンパスが開校します

企画政策課・☎2104



市と足利工業大学は、包括連携協定を締結し、市民向け講座への講師(教授など)

の派遣や、地域の活性化に取り組む学生への支援など、さまざまな分野で連携を図っています。

同大学は4月1日から名称を足利大学に改称し、旧日赤病院の跡地に看護学部を中心とした本城キャンパスを開校します。

本城キャンパスの1階、2階には、市民の皆さんも利用できるレストランやコンビニエンスストア(4月3日(火)オープン予定)が設置されます。

News

空家等対策計画を策定

建築指導課・☎22266

空き家が地域社会に及ぼす様々な影響が全国的に大きな問題となる中、市では『足利市空家等対策計画』を策定しました。

※計画書は同課(本庁舎6階)、各公民館、市ホームページなどで閲覧できます。

市の空き家などに関する取り組みを明確化し、総合的・計画的に実施することで、地域の生活環境の保全と、空き家などの利活用を促進することにより、地域の活性化に資するものです。

目的

対策の方針

基本的な考え方

1 危険な空き家の改善・処分の推進
所有者などの早期特定、継続的な管理の働きかけなど

2 空き家の利活用促進
空き家バンクの開設など

3 空き家の発生抑制
管理の大切さの意識啓発、管理に関する情報提供など



至誠
通天

市長コラム
No.050



和泉 聡

自分の小ささを知る

80年前に書かれた『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎著・マガジンハウス)が大ヒットし、話題になっています。漫画と原作がありますが、私は原作を読みました。

15歳の少年コペル君が、学校など身近な場所で起きる日常の出来事を通じ、叔父さんとの対話をしながら、悩み、考え、世界観や倫理観、人生観を身につけて成長していく。私が何度も読みながら読んだのは、コペル君が「人間て、まあ、水の分子みたいなものだね」と言い、叔父さんがそれに応じて、「そう言った時の君の顔は)ほんとうに美しく見えた。(略)ああいう事柄について、君が本気になって考えるようになったのか、と思ったら、僕は大変心を動かされたのだ」と手紙で語った場面でした。文芸評論家の斎藤美奈子さんは朝

日新聞で「(この本の)メッセージは明快。人間はちっぽけだけど、世界は広い」と話しています。私は朝日新聞時代の34歳のとき、ハーバード大学に留学し米国で生活しました。その間、百回以上、米国人から「あなたは、日本で新聞記者をしていたというが、なんとという新聞社だ?」と尋ねられ「朝日新聞」と答えましたが、「あー知っている」と言ってくれたのは、たった1人でした。『朝日新聞』と言えば、誰でも知っている日本にいますときと比べ、私はこの経験を通じていい意味で『朝日新聞の小ささ』を知ったのでした。

そして何より、私が海外経験を通して得た最大で最も貴重だったこと、それは自分の小ささ、朝日新聞の小ささ、そして日本の小ささを身をもって学んだことでした。このことは、その後の自分の考え方、価値観に大きな影響を与え続けています。市長という職にあっても、自分ちっぽけな人間なのだ、という意識をずっと持ち続けていきたい、そう思っています。